

**新型コロナウイルス対応緊急支援助成  
事業計画（実行団体）**

事業名(主)	企業と連携したフードドライブ活動推進事業
事業名(副) ※任意	フードドライブを通じて地域と企業を結ぶ

入力数 主 20 字 副 19 字

実行団体名	特定非営利活動法人ふーどばんく OSAKA
資金分配団体名	一般社団法人全国フードバンク推進協議会

**優先的に解決すべき社会の諸課題**

領域	分野
<input checked="" type="checkbox"/> 1) 子ども及び若者の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/> ①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
	<input type="checkbox"/> ②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
	<input type="checkbox"/> ③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
<input checked="" type="checkbox"/> 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> ④働くことが困難な人への支援
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援
<input checked="" type="checkbox"/> 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> ⑥地域の働く場づくりの支援
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

上記以外 その他の解決すべき社会の課題	<input type="checkbox"/>
------------------------	--------------------------

入力数 0 字

**SDGsとの関連**

ゴール
_1.貧困をなくそう
_2.飢餓をゼロに
_3.すべての人に健康と福祉を
_11.住み続けられるまちづくりを

実施時期	2021年 6月 ~ 2022年2月	事業 対象地域	<input type="checkbox"/> 全国 <input checked="" type="checkbox"/> 特定地域 (大阪府下 )	事業対象者： (事業で直接介入する対象者と、その他最終受益者を含む)	大阪府下におけるフードドライブ活動を推進する企業や団体 子ども食堂や地域支援団体	事業 対象者人数	フードドライブ活動に賛同する50の企業や団体 食品提供する地域支援の団体30
------	--------------------	------------	---	---------------------------------------	---	-------------	---

**I. 団体の社会的役割**

<b>(1)申請団体の目的</b>
『食』は人権。経済的困窮者の多くは、地域と繋がりが希薄な「社会的に孤立状態」に陥り、声を上げることも困難な方もいます。私たちは、誰もが安心・安全な暮らしが行えるように、『食』の支援で命を守ると共に、支援対象者と行政や支援機関、地域との繋がりを「フードドライブ活動」で広げていきます。 廃棄されるはずの安全に食べられる食品を回収し、活用することで環境破壊の防止にもつながっています。
<b>(2)申請団体の概要・事業内容等</b>
まだ食べられるのに、廃棄される食品を無料で提供いただき、食品を必要とされている方へ届ける活動を行い、食品ロス削減と生活困窮者支援を目的に、府民活動の架け橋となることを目標に活動している。2013年4月NPO法人格取得、2016年4月堺市より認定NPO法人の認定。

入力数 (1) 195 字 (2) 132 字

**II. 事業の背景・社会課題**

<b>新型コロナウイルス感染症により深刻化した社会課題</b>
この一年間、感染拡大が止まらない状況が続き社会的弱者といわれている方たちが一番最初に支援が必要となる状況です。しかし、このような状況は生活保護世帯やひとり親家庭などいわゆる制度における支援を受けている方々には影響が少ないと捉えられてきましたが学校の一時休校や「自粛」などで生活費が足りなくなり生活ができなくなるなどして当法人にも「食」支援が必要な方の問い合わせが急増 2020年度では156件の方から問い合わせがありました。これは、2019年度は12件から一気に増加しました。 また、「食」支援の問い合わせ内容も変化した 4月~6月は「預金も少なくなり心配なので「食」支援を希望したいなど直近ではないが2~3か月後に成り立たなくなりそうなので支援をしてほしい」という相談が多かった 9月~現在は「生活」ができないのでどうすればいいの。」や「夫からDV被害を受けて「食品」を買うことができないなど」深刻化した相談が多くなっている。 さらに、直近ではふーどばんく OSAKAへの問い合わせも深刻で緊急な対応が求められるケースが急増している。 また、食品の回収についても、新型コロナウイルスの感染拡大影響により学校給食、観光地の食材などが行き場を失いふーどばんく OSAKAへの寄贈が増加、賞味期限が1カ月もない食品や問い合わせなども増加するなど食品回収の現状も大きく変化しています。 さらに、社会全体が支援が必要となる状況下で地域の見守り支援などに積極的に取り組んでいた「子ども食堂」の活動も延期や中止になりました。特に1回目の「緊急事態宣言」時にはふーどばんく OSAKAと契約している99%の団体が活動を停止し、いまだに再開出来ない子ども食堂もあります。このように社会課題は広がり続け負のスパイラルが増加しています。

入力数 761 字

III.事業内容

<b>(1)事業の概要</b>
<p>フードドライブ活動に取り組む企業と連携し、市民に「食品ロス削減」活動を周知し活動意識を高める。さらに、集まった食品を地域で活躍する「子ども食堂」に提供し貧困や孤立している子どもたちへの支援へと繋げ地域全体で活性化をめざす。</p> <p>子ども食堂も現状では料理をして出すことが難しいので「弁当」や「ドライフード」をわたすいわゆるパントリー活動へと移行していることが多く多様化しています。多様化した活動に柔軟に対応したネットワークの構築をめざします。</p>

入力数 218 字

<b>(2)事業実施後（1年後）以降に目標とする状態</b>
<p>フードドライブに取り組む事業所を50か所以上も目標に30の事業所で地域の子ども食堂や支援団体へ提供できる体制を構築をめざします。</p> <p>それに伴い30の子ども食堂、地域支援団体と継続的な食支援を行うことで地域全体で「食」における貧困問題を解決する一つのツールとして位置づけをはかる</p>

入力数 137 字

	前年度（2020年4月～2021年3月末）実績		今回の事業実施期間を通じた目標値	
(3) 食品寄贈受け入れ重量（トン）	224	トン	170	トン
(4) 困窮世帯への食料支援件数（延べ数）	465	件 （延べ数）	1200	件 （延べ数）
(5) 困窮世帯への食料支援に使用する食品の重量（トン）	5.5	トン	12	トン
(6) 自治体福祉課・社会福祉協議会等、連携する相談機関・窓口の数	33		40	
(7) こども食堂やパントリー等、食品提供先として連携する福祉施設・支援団体の数（自治体福祉課・社会福祉協議会を除く）	402		410	
(8) 食品寄贈元企業の数	670		720	

食品寄贈元企業の数に寄贈企業の実数と個人からの寄付件数を加算

(9)上記（3）～（8）の「事業実施期間を通じた目標値」を達成するために実行団体が行う具体的な活動	時期
フードドライブ活動の推進 現在、連携している食品流通事業者と連携強化を進め府下の店舗で1カ月に1週間「フードドライブ活動」を開催	2021年6月1日～2022年2月
子ども食堂や地域支援団体との連携 フードドライブ実施事業所と対象地域の支援団体へフードドライブで回収した食品を提供し地域活性をはかる	2021年6月1日～2022年2月
パントリー事業	2021年6月1日～2021年8月

IV.事業実施体制

<b>(1)メンバー構成と各メンバーの役割</b>	<p>特定非営利活動法人ふーどばんくOSAKA 事業コーディネート（マッチング）</p> <p>食品流通事業者 フードドライブ活動と情報発信</p> <p>地域支援団体（子ども食堂、地域支援団体）「食」が必要な家庭や子どもへ食支援をおこなう</p>
<b>(2)他団体との連携体制</b>	食品企業、大阪市、地域支援団体との連携により食品の回収及び配布を行う
<b>(3)想定されるリスクと管理体制</b>	<p>（想定されるリスク）</p> <p>食品流通事業者との連携において一定量の食品が回収できるのか</p> <p>地域支援団体が定期的に食品を回収することができるのか</p> <p>ネットワーク化が進まなければ回収、提供に支障が出る</p> <p>（管理体制）</p> <p>認定NPO法人ふーどばんくOSAKAがコーディネート</p>

V.関連する主な実績

<b>(1)休眠預金以外の助成・補助金活用の有無</b>				
<b>コロナウイルス感染症に係る事業</b>				
①本申請事業について、コロナウイルス感染症に係る助成金や寄付等を受け活動を実施している(予定も含む)	有 <input type="checkbox"/>	無 <input checked="" type="checkbox"/>	有の場合 その詳細	
②本申請事業について、国又は地方公共団体から補助金又は貸付金（ふるさと納税を財源とする資金提供を含む）を受けていない	無 <input checked="" type="checkbox"/>	※有の場合、選定の対象外となります（公募要領：助成方針参照）		
<b>(2)申請事業に関連する調査研究、連携の実績</b>				
<p>2017年度～株式会社ダイエー 大阪府下 31店舗とフードドライブ活動を推進</p> <p>子ども食堂、地域支援団体ダイエー引き取り17団体</p> <p>◆食品提供活動（食料提供を必要施設・子ども食堂への食料支援、ホームレス・外国人・刑余者支援団体、生活困窮者自立支援窓口等を通じての個人食料支援等）</p> <p>→2019年：393団体・2018年：345団体・2017年：302団体</p> <p>◆食品回収活動（企業・行政・個人から食品の寄贈回収、手配、保管等）</p> <p>→2019年：182トン・2018年：143トン・2017年：205トン</p> <p>◆活動の普及啓発活動（ボランティアデー、フードドライブ、研修講師、情報発信等）、被災地へ緊急支援等</p> <p>→2019年度ボランティアデー1回開催：81人参加、フードドライブ：64回実施等</p>				